

# 提 言 書



中央区区民会議

## 自然環境を守る取組に対する提言書

豊かな自然環境と多様な都市環境を併せ持つ相模原市において、今ある身近なみどりや生物多様性を保全し、都市の自然を次世代へ繋げていくことが大変重要です。自然環境に対する市民の意識を高め、自分事として捉えられるよう、次の事項を提言させていただきます。

- 1 自然環境の現状やその大切さを知り、個人や地域が主体的に身近なみどりや生物多様性を保全する活動に繋がられるよう、学習講座や普及啓発活動等を身近な会場で実施することを検討する。
- 2 自然環境に関する普及啓発の強化及び学習講座やイベントへの参加者を増やすため、自然環境に関する啓発及び学習講座等の情報を集約して発信することや、発信方法を工夫する等、情報発信に係る取組を更に推進する。

中央区区民会議は、第7期において中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として市及び関係団体に対して、提言活動等を実施しております。その活動の一つとして、都市の自然を次世代につなげるまちづくりについて、議論してまいりました。

現在、さがみはら環境まつりやさがみはら生物多様性シンポジウムなどの全市的なイベントのほか、市内の森林や公園、エコパークさがみはら等での体験会や講座等が開催されており、それぞれ内容も充実したものであると認識しております。

自然環境に対する市民の意識を高めるためには、関心のある人だけでなく、子どもから大人まで、多様な人が関心を持ち、気軽に参加できる取組が必要です。そのため、身近な会場で自然環境に関する学習講座や普及啓発活動等を実施することで、普段の暮らしの中で自然環境を守る意識を持ち、個人や地域が主体となって、身近なみどりや生物多様性を保全する活動へと繋がるきっかけとなるよう、提言させていただくものです。

令和6年7月29日

相模原市長 本村 賢太郎 殿

中央区区民会議  
会長 飯島 泰裕